

## 第6回デイサービスセンターかおり 運営推進会議 議事録

日 時 : 令和元年9月11日水曜日 18時～19時30分  
場 所 : デイサービスセンターかおり 食堂兼機能訓練室  
テーマ : 上半期の活動報告・令和新時代のかおりの取り組み  
参加者 : 松前町保険課職員1名・松前町地域包括支援センター職員1名・  
他事業所職員等7名・利用者家族8名・事業所職員16名

合計33名

### 1. 開会の挨拶 理事長：盛次 義隆

運営推進会議はかおりでどんなことをしているのか、職員がどんな考えを持っているのかを明確にすることで、皆様の意見を頂戴したいと思います。

令和になって初めての会議です。しかし我々が対応する利用者さんは、大正や昭和の時代に生きた人たちです。そこでこの夏、職員に昭和について勉強をしてもらいました。また、10月からは消費税も上がります。職員の給与をあげることを決めたものの、医療報酬や介護報酬は0、4%しか上がりません。どんどん医療、福祉が切られているという風に感じます。そんな中で、いい質の福祉をするためにはこれだけの費用が必要なんだ、という世論の声を上げられるようになって欲しいな、と思います。

### 2. 上半期の活動報告・令和新時代のかおりの取り組み

デイサービスセンターかおり：生活相談員盛次有希より

(ア) 昔を懐かしみ、新たな時代を生きていこう！

令和 だからこそ！

昭和、大正～特に戦後の生活～を振り返る

そこで早速、職員が「昭和」について学習をした話を報告。

⇒昭和という時代。大きなのは戦争。戦争を経験し、生きるために、食べていくためにがむしゃらに働いた時代。

日本の復興、めまぐるしい経済成長 その時代を駆け抜けたお年寄りたち。

利用者がそんな輝いた自分について、その当時について語ることに意義がある。

「私は生きている」そのパワーを利用者さんから感じ、それを受け継ぐ私たち。この構造の意味があります。

そして、言葉だけでなく、調べて資料や写真、映像を通して若い職員含み「昭和」を感じてもらったことでより具体的に想像ができます。

そして、何よりも利用者の気持ちに寄り添い、共感できる職員へと成長したのではないかと考えます。

今年はさらに2月にもこの「昭和」をテーマに利用者さんとコミュニケーション